

## 【台詞集：遠坂凛】

- [音声有り](#)
  - [選択](#)
  - [登場](#)
  - [勝利](#)
  - [攻撃](#)
    - [通常攻撃](#)
    - [必殺技](#)
    - [超必殺技](#)
    - [聖杯必殺技](#)
  - [魔力開放](#)
  - [受け身](#)
  - [喰らい](#)
  - [K.O.](#)
  - [コンティニュー](#)
  - [ゲームオーバー](#)
- [音声無し](#)
  - [勝利台詞](#)
  - [コンティニュー](#)
  - [ストーリー](#)

## 音声有り

---

### 選択

- よーし、行くわよ！
- 常に優雅に...、ポッコポコよ！

### 登場

- オーケー、始めましょう
- ハデに決めるわっ！
- やるからには本気でいくわよ？
- Anfang...
- 手ェ抜いたら、ケガじゃ済まないんだからねっ（VS士郎）
- 行くわよ、アーチャー（VSアーチャー）
- ここまでバカとは思わなかったわ（VS桜）
- 逝き場に迷えクソ神父！（VS綺礼）
- お金の匂いがするわ...(VSギルガメッシュ)
- せいぜいほざいてなさい...（VSルヴィア）

### 勝利

- 非決着時
  - 休憩終わりっ...、さっさと立ちなさい
  - 今の内に準備、準備っと
  - 結構やるじゃない？
- 決着時
  - 私に勝てると思ったの？
  - ふふっ、こんなモンよ
  - まあ、こんなトコね
  - 私がセイバーのマスターだったら、こんな戦い勝ったも同然だったのに...（VSセイバー）
  - 士郎はもう戦わなくていいわ（VS士郎）
  - 私の勝ちね（VS桜）
  - ざんねーん、三回目と同じになっちゃったわね（VSルヴィア）

# 攻撃

## 通常攻撃

- 汎用
  - ついて来れる？
  - お生憎様
  - はっ
  - それっ
  - とおっ
  - たあっ
  - ていやっ
  - 消えろあっ
  - 寝てろあっ
- ガンド
  - こんにゃろっ
- 投げ：
  - 内臓一発！

## 必殺技

- 宝石魔術（A）：
  - neun（ノイン／9）
  - 弾けるっ！
- 宝石魔術（B）：
  - F ü n f（フユンフ／5）
  - 冷たいの！（B）
- 宝石魔術（C）：
  - Acht（アハト／8）
  - 行けえーっ！
- エアグレネード：
  - よっと
  - ほいっ
- アイスグレネード：
- スタングレネード：
- 連環腿：
  - はいっ
  - ていやっ
  - 絶対領域っ！（C）
- 崩拳：
  - はあっ！
- 裡門頂肘：

## 超必殺技

- 功程四拍：
  - 行くわよっ！ はっ！ ここだっ！ 飛んでけえーっ！
- カッティング・セブンカラース：
  - かわさないでね、高いんだからっ！
  - Schuss schie ß t Beschuss Erschliesung！（シュッス シスト ベシュッス エァシュリースク）

## 聖杯必殺技

- 宝石剣ゼルレッチ：
  - Paradigm Cylinder！（パラダイムシリンダー！）溶かし切れ！七色（にじ）の極光！
  - Paradigma Zylinder！ Ersts, Zweite, RandVerschwinden！（パラダイムシリンダー！ エーステ！ ズヴァイテ！ ラントヴィア

シュビンデン！

)

## 魔力開放

- 行くわよっ！
- とどめっ！

## 受け身

- 軽い軽いつ

## 喰らい

- アンタねえ！
- きゃああっ！
- もー怒った！

## K.O.

- 痛ったあー...（1本目）
- そんな！？（決着時）

## コンティニュー

## ゲームオーバー

## 音声無し

---

## 勝利台詞

- よし、快勝！  
この調子で次、行ってみよ～！
- お生憎さま、  
いまどきの魔術師ってのは、  
格闘戦もこなすのよ？
- 魔を以て魔を制す。  
七色（にじ）の宝石は、  
相手が何であろうと撃ち倒すわ。  
.....お金かかるけど
- じゃ、そーゆーコトで  
お互い、命あつての物だねだしね
- よく生きてるなって？  
当然よ、おなかと背中に五つのルビーを  
付けてるんだもの。  
十トンの衝撃にだって耐えられるわ
- 女の細腕だからって甘くみないでよ、  
腕に七つのサファイアをつけて  
魔力武装してるんだから
- よし、完全勝利！  
約束よセイバー、  
これで貴女はわたしのものね（VSセイバー/CPU戦）

- すごい上達速度だけど……まさか、  
追い抜かれるとか  
ないだろうな、わたし（VS士郎）
  
- ……魔力を湯水のように使う、  
神代の魔術師か……勉強になったわ（VSキャスター）
  
- あれ、  
腕が落ちたんじゃないアーチャー？  
手加減するなんて  
心の贅肉がついた証拠よ（VSアーチャー）
  
- もったいないな……  
なんで偵察役なんてやってるの？  
もしかして、貴方のマスターって並はず  
れた性格破綻者？（VSランサー）
  
- 夢から覚めた？  
まだ寝ぼけてるなら更にきつい、  
お見舞いするわよ（VS桜）
  
- ……アンタとの腐れ縁も  
ここまでね綺礼。  
神父としてはともかく、  
兄弟子としては文句なしだったわ（VS綺礼）
  
- な、なんてアンタがここにいるのよ！？  
ロンドンに帰れ、ロンドンに（VSルヴィア）
  
- う……な、なによこの胸の高鳴り……  
わ、わたし、あからさまな美形は  
まず警戒するんだけど……あれれ？（VSゼロ・ランサー）

## コンティニュー

### ストーリー

#### オープニング

- アーチャーのヤツ、  
なにが君は屋敷に隠れている、よ。  
ほんと勝手なんだから
  
- 過保護というか、わたしの事を  
甘く見てるといふか……
  
- よし、決めた。  
もうあんなヤツに頼らない
  
- 守りに入るのは性に合わないし、  
なんか、屋敷に引きこもって様子を  
見ているだけっていうのは、  
遠坂的によくない気がするし！
  
- えーと……たしか、  
大師父の魔導書（グリモア）の中で、  
宝石による近接格闘礼装全種ってのが

あった筈だけど.....

- あ、あったあった、これこれ！  
よーし、見てなさいよアーチャー！
- わたし一人で聖杯を手に入れて、  
ぐうの音もでないように  
してやるからねー！

4人目

- 凜！？  
貴女一人で何をしていますのです！？（セイバー）
- 何って、見てわかるでしょ？  
聖杯戦争よ、聖杯戦争（凜）
- アーチャーのヤツが  
勝手やってるもんだから  
ちょっと、マスターとしての威厳を  
見せ付けてやろうかなって（凜）
- そんなわけで  
お手合わせ願えるセイバー？  
今のわたし、  
そう退屈はさせないわよ？（凜）
- ば、バカな事を言っている場合ですか！  
危険です、すぐにアーチャーと  
合流してください！（セイバー）
- いくら敵同士といえ、  
一人きりである貴女と戦うのは  
騎士道に反します！（セイバー）
- むう。  
もう、相変わらずあったま堅いわね  
セイバーは（凜）
- でもまあ仕方ないか、わたしもここまで  
大師父の魔導書（グリモア）が観面に  
効くとは思ってなかったし.....（凜）
- あ、.....よしよし、  
セイバーが油断してるならホントに  
一本とれちゃうかも.....（凜）
- いいわセイバー、  
貴女が勝ったら大人しく  
屋敷に帰ってあげる（凜）
- その代わり  
わたしが勝ったら、今日からセイバーは  
わたしのサーヴァントだからね！（凜）
- 凜！？  
くっ、悪ふざけにも程がある。  
挑まれたなら

剣は止められないというのに……！（セイバー）

8人目

- ……………はあ（綺礼）
- なによ、露骨にイヤそうな顔しちゃって（凜）
- ……いや、少々予想外だったものでね、おまえが勝ち残るのは分かっていたが、まさか、サーヴァント抜きとは思わなかった（綺礼）
- 時臣師も、やっかいな魔導書を隠し持っていたものだ（綺礼）
- 父さんは生粋の魔術師だったからこの手の野蛮な魔導書はお気に召さなかったんでしょ（凜）
- 言うておくけど、わたしが荒事に長けたのは兄弟子の教えがあつてこそよ？この事態は、アンタ本人が招いた事とも言えるけど？（凜）
- ……なるほど。覚えがいいので教えに熱が入ってしまったが、確かに余分な事だったな（綺礼）
- よかろう。自らの精神の贅肉、ここで搾り取るとするか（綺礼）
- 心の贅肉っていうより税金ね。わたしに武術を教えた事、高くつくわよ綺礼？（凜）
- なに、まだ十分払いきれぬ金額だよ。では来たまえ凜。数年ぶりに、本気で拳を交えよう（綺礼）

エンディング

- ってコトで聖杯は無事入手、と、やっかいすぎて今のわたしじゃ扱えないから、しばらくは封印してるしかないけどね？（凜）
- それは賢明な判断だが……  
……これはどういう事かな、マスター（アーチャー）
- どういう事って、見ての通りだけど？ぜんぜんマスターの役にたたなかったダメサーヴァントはその大きさと十分でしょ？（凜）
- しばらく反省してなさい。  
（……ま、実際はまともに契約するとすぐ魔力切れになっちゃうから

なんだけど) (凜)

- いや、それにしてもだな。  
こういうのは  
私の芸風でないというか…… (アーチャー)
  
- いいじゃない。  
案外お似合いよアーチャー？ (凜)
  
- これで冬木で一番強いのは誰か  
証明されたし、次は正義の魔法少女でも  
やってみましょうか！  
うん、ちょうどマスコットもいるし！ (凜)
  
- ますますもって恥ずかしいっ！  
ああ、こんな事ならさっさと聖杯を  
壊してしまえば良かったなあ！ (アーチャー)